

“ タイルは新しい

表現力と機能性を高めるタイルの進化形

世界のタイルの潮流は大判化の方向に進み、現在では3000×1000mmを超える大判サイズも可能に。ダイナミックな空間演出や高級感を醸すことができ、商業施設やホテル、マンションなどの事例が増えています。また、美濃地方では、明治時代から伝わる銅版転写技法により、手描きのような絵の具の濃淡や細かな絵柄を、側面やカーブの部分にも描くことができます。機能の面では、調湿・脱臭機能や環境アレルゲンを抑制する機能を備えたタイルなど、生活環境を快適にする技術の進化に注目です。



“ タイルとSDGs

100年後も美しい、サスティナブル(持続可能)な建築材

セラミックタイルは、粘土を主原料に長石や陶石を調合した天然資源からつくられる建材。他素材に比べて極めて丈夫で、一般的に70～100年もの寿命を持つといわれています。耐久性、耐摩耗性、耐水性などに優れたタイルは、適度なメンテナンスを施すことでいつ

までも変わらない美しさをキープする持続可能な建築材。また、近年ではタイル生産時の焼成エネルギーの余剰分や廃棄物を再利用して循環生産するなど、環境に配慮した取り組みに努めるメーカーも増えています。

